

東日本大震災への支援を心から訴えます

2011年3月19日

組合員・職員の皆様へ

ろっこう医療生活協同組合
理事長 村上 正治

3月11日14時46分、東北関東地方でマグニチュード9.0という世界最大級の巨大地震が発生しました。その地震と津波は東北に襲いかかり、一瞬にして甚大な被害を引き起こしました。

さらに福島原子力発電所の事故が追い打ちをかけ、現地は二重、三重の恐怖と困難に覆われています。犠牲となった方々に衷心より哀悼の意を表し、被災された皆さんに心からお見舞い申し上げます。

16年前に私たちは阪神淡路大震災に遭い、被災の経験をしています。そのつらさやひもじさ、喪失感、今あらためて二重写しとなって胸に迫ります。同時に苦難を共にする人々の友愛と強さもあのと一緒です。

あのときに受けた全国からの支援は当時の私たちにとって闇夜を貫く一条の光でした。いま、それと同じ闇に包まれ被災した人々を照らす支援の光を神戸から発したいと思えます。

ろっこう医療生協はすでに3月12日に本部に対策本部を設置し、15日～16日には福島に専務・常務を派遣して福島中央市民医療生協の皆さんに、医薬品等の支援物資を届けました。また、組合員さんといっしょに募金活動も開始しています。

この想像を絶する被災からの復旧は、ひたすら長期戦となることは明白です。ですからその支援も息長く続けることが必要です。

組合員・職員の皆さん。いつ果てるともしれぬ困難の中、地域住民の命と生活を守る活動の先頭に立つ被災地の医療生協を、物心両面で暖かく力強く支援しようではありませんか。皆さんのご協力を心より訴えます。

がんばろう東北 がばろう日本

以上